令和８年度

学校図書館全体計画

江戸川区立篠崎第二小学校

学校教育目標

光る子
- 心豊かに　たくましく -

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに、児童の健全な教養を育成することを目的とする。

多くの児童が本に興味をもち、読書量も少なくないが、調べ学習等で図書館を利用する機会はまだ少ない。

学校図書館の目標

学校図書館の活用を通して、自ら学ぶ意欲と態度を育て、生涯学習の基礎を培う

ねらい

①児童の読書意欲をさらに盛り上げ、豊かな心と知識を身につける。
②調べる学習の指導を充実し、図書館活用の望ましい態度や技術を高める。
③多様な資料から自分に必要な情報を選び、課題解決を図り、情報活用能力を育成する。

指導の重点

① 教育課程全体を通して、計画的な読書活動と学校図書館の活用を推進する。
② 学校図書館を活用した教科等の学習の充実と情報活用能力の育成を図る。
③ 司書教諭を中核とした学校図書館教育の推進を図る。

各学年の重点目標

第一学年	・読み物を楽しんで読もうとする。 ・図書館に親しんで利用できる。	第三学年	・様々な種類の本を読もうとする。 ・進んで図書館を利用して調べようとする。	第五学年	・読書を通して知識を増やし、心情を豊かにする。 ・目的に応じて図書館を適切に利用する。
第二学年	・読み物を進んで読もうとする。 ・図書の扱い方や借り方など正しく利用できる。	第四学年	・読書の幅を広げ、進んで読み、読書量を増やす。 ・調べ学習に意欲的に取り組む。	第六学年	・適切な本を選んで読む習慣を定着させる。 ・学び方を身に付け、課題解決能力を高める。

具体的な取り組み

〔各教科〕

○ 図書館機能を活用し、課題解決学習、調べ学習、個別指導やグループ学習の場とする。
○ 情報の収集、処理等、情報活用能力を養う。
○ 読書指導を行い、読書習慣、態度を養う。

〔読書科〕

○ 「朝読書」「読み聞かせ」等による読書を推進し、習慣化させる。
○ 図書館資料を活用した「調べる学習」を行い、整理・分析し、表現する力を養う。

〔総合的な学習の時間〕

○ 学び方や考え方を身に付けさせる。
○ 各学年における学習の成果発表の機会を活用し、課題の探求・解決に主体的に取り組む。
○ 系統的に情報活用能力を育成する。

〔特別活動〕

○ 図書委員会を中心に、読書週間の取り組みを行う。
○ 栄養士と図書・給食委員等による「おはなし給食」を行う。

〔特別の教科　道徳〕

○ 図書資料を通して、自分を深め、道徳的心情を培う。

〔家庭・地域との連携〕

○PTA による、朝読書での「読み聞かせ」を実施する。

朝読の推進　推進組織の確立・充実　図書環境の整備・充実　ボランティアとの連携